

株式会社 ビジネスナビゲーション様 プラン特別プロジェクト フィリピンにおける保育所建設プロジェクト 完了報告書

1. プロジェクトの背景・概要

プランは、フィリピンで1961年に活動を開始して以来、教育、保健、住環境の改善、住民の収入増加など多岐にわたる分野で、住民参加型の地域開発活動に取り組んでいます。



フィリピン基本データ
 ・人口: 8,626 万人
 ・5 歳未満児死亡率: 32 人/1000 人
 ・小学 5 年生の定着率: 75%
 ・1 人当り国民総所得 (GNI): 1,420 米ドル
 「ユニセフ世界子供白書 2008」より



ノースサマール
活動地域

フィリピンのノースサマール活動地域が管轄するカタルマン町のセルバンテス村は、9割以上の世帯が農業によって生計を立てている貧しい農村地域です。村では、貧困から派生する様々な問題を抱えていますが、特に就学前教育を提供する常設の保育所が緊急の課題となっていました。村の就学前の子どもたちは保育所代わりに古い民家を利用して学んでいましたが、壁や天井は老朽化し、雨の日は部屋の中が水浸しになるなど、子どもたちが日中過ごし学ぶ場所としてふさわしくありませんでした。また安心して運動が出来る運動場もありませんでした。

このような状況を改善するため、このプロジェクトでは、セルバンテス村に常設の保育所を建設し、机やイスなどの備品の支給、絵の具や遊具の支給、また運動場の整備を行い、子どもたちにとって安全な教育環境を整えることを目指しました。

2. プロジェクトの経過

このプロジェクトは、2008年3月の開始以来、多少の遅れはあったものの概ね順調に推移し、2008年9月に無事完了しました。前回の報告書から現在までに下記の活動を行いました。

■ 保育所の完成と子どもたちによる評価

2008年8月、保育所建設が完了しました。2008年9月11日には、保育所に通う子どもたちとその親、教師が、完成した保育所を見学しました。見学中、子どもたちは保育所をよく見て回り、気に入った点と気に入らなかった点を報告しました。新しく完成した保育所に、子どもたちはみな大喜びでした。

■ 保育所の竣工式と引渡し式

10月12日、村の教会での日曜礼拝のあと、保育所の竣工式典がキリスト教式で執り行われました。翌13日には、保育所の引渡し式を開催しました。この式典には、保護者会、保育所に通う子どもたちとその親、村議会メンバー、町の福祉開発担当職員や教育庁職員、プランスタッフが同席し、保育所完成の喜びを分かちあいました。地域の高校生を含む子どもたちが踊りを披露し、式典を盛り上げました。

■ 給水設備の設置

村議会の資金協力を得て、地域の人々から要望の高かった給水設備が保育所に追加設置されました。

3. プロジェクトの成果

■ 子どもたちの学習環境と、教育の質の向上

机やいすなどの備品、絵の具や遊具、運動設備の整った衛生的で子どもにやさしい保育所が完成したことで、この地域の就学前の子どもたちの学習環境が格段に改善されました。また、新しい保育園を見た地域の子どもたちとその親の多くが新たに入園を希望したため、プロジェクト実施前27人だった生徒数が56人にまで増加しました。一方、教師の意欲も高まりを見せています。今後教育内容が改善され、子どもたちの学習効果が向上することも期待できます。

■ 住民参加による、地域の能力強化

プロジェクト期間中、子どもたちを含む地域の人々、保護者会、保育所職員、自治体の担当者などプロジェクトに関わるすべての人々が良好な協力関係を築き、うまく役割分担をしながらプロジェクトに積極的に参加しました。その結果、地域の人々自身が責任を持って、プロジェクトによる成

果を継続させていく体制が整いました。今後、保育所の維持管理は、自治体と保護者会が中心となって行うことを約束しました。

4. プロジェクト支出

株式会社 ビジネスナビゲーション様からいただいたご寄附15,418米ドル(166万円)は、下記のとおりすべて支出を終えました。ご寄附額と総支出との差額は、フィリピンでの活動を統括するプラン・フィリピンの年間予算より拠出してプロジェクトを完了いたしました。

| 活動内容 | 支出額(米ドル) |
|----------|----------|
| 保育所建設 | 15,387 |
| 保育所備品の支給 | 1,053 |
| 合 計 | 16,440 |

5. 現地の声

「この保育所は水浸しにもならないし、においもないのでよかったです。どうもありがとうございます。」
(保育所に通う子ども)

「1994年に話が持ち上がった保育所建設が、14年を経てやっと実現し、とても幸せです。以前、私が働いていたころ、仮設の保育所の建設資材用に、子どもたちの親が竹やニツパヤシを買って提供してくれていたことが、懐かしく思い出されます。」 (エルナ・ジュミラ／保育所元職員)

「親として、きちんとした保育所に子どもを通わせることができるのはとても嬉しいことです。子どもの権利を守り、能力を最大限に発揮できるようにするというプランの取り組みに共感しました。今後も、子どものための活動をぜひ続けてください。」
(シルビア・メドラーノ／前保護者会代表、マージョリー・マリノ／現保護者会代表)

「村議会を代表して、地域の子どもたちにより良い学習環境を提供くださったことに心より感謝します。保育所の必要性を強く感じていたため、村議会のメンバーをはじめ地域の人々みんなが協力し合って、このプロジェクトを進めました。ご支援くださった方に心から感謝を申し上げます。」
(ホン・ジル・マンガード／セルバンテス村議会議長)

6. 写真



セルバンテス村に完成した保育所外観
窓が大きく、風通しのよい衛生的な建物です。



引渡し式でのテープカットの様子



緊張した面持ちで引渡書にサインする保護者会代表



引渡し式には地域から大勢の子どもたちも参加しました。



子どもたちの親、村議会のメンバー、教師たちも一緒に
式典のプログラムを鑑賞しました。

7. お問い合わせ先

財団法人 日本フォスター・プラン協会(プラン・ジャパン)
プラン特別プロジェクト担当 寺田 聡子
TEL:03-5481-6265/FAX:03-5481-6200
Email: terata@plan-japan.org